

公益財団法人シオノギ感染症研究振興財団

2026年度 事業計画書

(自 2026年4月1日 至 2027年3月31日)

当財団の目的を達成するため、人類にとって脅威となる感染症に関する研究並びに活動を援助奨励し、もって学術の振興及び人類の健康と福祉に寄与するため、次の事業を行う。

【研究助成事業】

I. 事業の概要

日本における感染症に関する研究の活性化を目的とした7種類の研究助成を実施し、本年度は、事業規模4億9,600万円の助成事業を計画する。病原体の種類は限定せず、ワンヘルスの概念に基づいた感染症に関する研究全般を対象としたイノベティブでチャレンジングな研究を助成の対象とし、感染症の治療、予防、ワクチン、診断などにつながる基礎研究・創薬研究・臨床研究・疫学・公衆衛生などに関する研究に加えてリスクコミュニケーションなどの社会科学的なテーマも助成の対象とする。また、医学・薬学系以外の異なる研究領域からの応募も募る。

II. 助成事業の内容

1. 次世代育成支援研究助成金（基礎・創薬）

国内外の感染症に関する基礎研究および創薬研究に意欲的に取り組んでいる日本国内の45歳未満の研究者への助成

助成金額 1件あたり 300万円

助成期間 1年間

採択件数 25件程度

総 額 7,500万円

2. 次世代育成支援研究助成金（臨床・パブリックヘルス）

国内外の感染症に関する臨床研究、疫学・公衆衛生に関する社会医学研究、人文・社会学や工学など幅広い視点からの研究に意欲的に取り組んでいる日本国内の45歳未満の研究者への助成

助成金額 1件あたり 300万円

助成期間 1年間

採択件数 12件程度

総 額 3,600万円

3. 萌芽的研究助成金

日本国内の研究者が行う国内外の感染症に関する研究で、独創的な発想、意外性のある着想に基づく芽生え期の研究への助成

助成金額 1件あたり 500万円

助成期間 1年間

採択件数 15件程度

総 額 7,500万円

4. 基礎基盤研究助成金

日本国内の研究者が行う国内外の感染症研究の発展が期待できる基盤構築となる研究への助成

助成金額 1件あたり年 1,000万円を 3年間交付

助成期間 3年間

採択件数 5件程度

総 額 1億 5,000万円

5. 創薬研究助成金

日本国内の研究者が行う国内外の感染症に関する創薬研究を推進するための研究への助成

助成金額 1件あたり年 1,000万円を 2年間交付

助成期間 2年間

採択件数 2件程度

総 額 4,000万円

6. 臨床研究助成金

日本国内の研究者が行う国内外の感染症に関する臨床研究を推進するための研究への助成

助成金額 1件あたり年 1,000～2,000万円（各年同額）を 3年間交付

助成期間 3年間

採択件数 1～2件程度

総 額 6,000万円程度

7. パブリックヘルス研究助成金

日本国内の研究者が行う国内外の感染症に関する疫学・公衆衛生に関する社会医学研究、人文・社会学や工学など幅広い視点からの研究への助成

助成金額 1件あたり年 300～1,000万円（各年同額）を 3年間交付

助成期間 3年間

採択件数 2件～6件程度

総 額 6,000万円程度

Ⅲ. 選考スケジュール

募集公開	4月1日～
応募期間	4月1日～6月30日正午
選考期間	7月～11月
助成対象者決定	12月上旬
採択結果通知	12月上旬
助成金交付・公表	1月

Ⅳ. 研究成果発表会

助成対象者による報告の場として、研究成果発表会を開催する。

開催日	2026年6月12日
開催場所	梅田サウスホール
発表形式	プレゼンテーション及びポスター
発表者	2023年度 複数年助成研究対象者 2024年度 単年・複数年助成研究対象者

【支援金交付事業】

I. 事業の概要

日本国内で感染症に携わる若手の活動意欲を向上させ、将来の感染症対策に寄与できる人材育成に貢献することを目的として、感染症関連学会等に「Young Challenger Award (YCA)」の支援金を交付する。支援金の使途は、臨床現場における各種感染症について、独創性や挑戦性のある取り組みなどにより、社会・医療機関・患者等に大きく貢献した学会等の会員（40歳未満）に対する褒賞金（1件あたり50万円）とする。

Ⅱ. 本年度支援金交付対象先及び採択予定件数

・ 日本感染症学会	5件
・ 日本化学療法学会	5件
・ 日本環境感染学会	5件
・ 日本臨床微生物学会	3件
・ 日本小児感染症学会	3件
合 計	21件

以 上